

令和2年11月7日

学部生・大学院生の皆様へ

保健管理センター  
所長 大島 一成

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための生活上の注意事項

10月20日から、伊勢崎・王子キャンパスの学部1年生、大学院の一部で、11月2日から4キャンパスの学部1、4年生で対面・遠隔併用授業が始まりました。

2グループに分けて対面授業を交互に行う、これは各教室に対して人数を制限することで、厚生労働省が提唱する三密回避によりクラスターの発生をできる限り防ぐための方策です。また、大学という学びの場での対面授業と教員・学生間の交流を可能な限り実現し、感染防止と対面授業継続のバランスを考慮した方法でもあります。

いま学生の皆様に考えてほしいのは、授業以外の時間です。

教員・学生間の交流は何物にも代え難いものですが、授業も終わりリラックスし、昼食をとるとき、マスクを外して近距離で話すと感染リスクは高まります。久しぶりに学友と再会された後は、マスク着用を継続し、距離をとり歓談しながら楽しく帰宅されることをお勧めいたします。症状のない不顕性感染も多々あるため、感染拡大のリスクを高めることのないよう以下の注意点をご確認ください。

#### 1 大学以外での行動

3つの「密」（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離での会話や発語が密接場面）を避ける。具体的には、大人数での会食や飲み会を避けること

（4人を超える会食、家族以外との会食を法律で禁止した国もあります。4人で会食した場合、対面だけでなく側面に座った人により感染リスクが高まるという研究があり、人数が増えるほど危険です。大声で会話が響く店はさらに危険です。）

カラオケや狭い空間での演劇・クラブなどのイベント、スポーツ観戦等で声援をあげる状況などではリスクが極めて高まります。

#### 2 マスクの着用、手洗い、消毒、換気を徹底すること

授業中のみならず、多くの人を利用する店や場所、公共交通機関を利用する際は必ずマスクを着用し、ラッシュのピークを避けるよう工夫して通学すること。無理せず、通学と遠隔授業をうまく使い分けること。

食事前、トイレ使用後の手洗い、ドアノブ、スイッチなど複数の人が使うものに触れた後に手指をまめに消毒する。帰宅後は洗顔・丁寧な手洗いを必ずする。

時間ごとに室内を換気し、外出時も換気の悪い場所をさける。

#### 3 接触確認アプリ等の活用

接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードや、地方自治体独自の通知システムの利用登録を行う。

【厚生労働省】

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

- 4 出かける前の検温、体調チェック  
37.5℃以上の発熱や咳などの風邪症状、強い倦怠感、関節痛、息苦しさ、嗅覚・味覚障害等がある場合は、登校せず、医療機関を受診すること。
  
- 5 流行している地域からの移動、流行している地域への移動は控える  
一人ひとりが「自分の身を守る」「他人にうつさない」ことを意識し、最新の感染動向に注意をはらい、行動する前にリスクがないか適切に判断するようお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症が発症、PCR検査陽性、あるいは濃厚接触者になった場合は、学生用ホームページの「新型コロナ感染症関係申し出受付窓口」より定められた書式で、または、各キャンパス教務課へ直接電話するなどして、至急連絡をお願いいたします。